

長州戦争勃発。幕府軍苦戦



周防大嶋郡大合戦（大島口の戦い）当館蔵

大島口の幕府軍暴走

松山藩兵、大島の民家を放火・略奪

長州戦争は大島口から火ぶたを切られた。六月七日、幕府蒸気軍艦長崎丸は、上関宰判熊毛半島先端の千葉崎の沖から大砲四発を発し、室津瀬戸口の人家その他を砲撃した。伊予松山藩兵は南部の安下庄の民家を放火・略奪しながら攻撃した。
長州藩は大島の防禦を放棄していたが、八日の幕府軍攻撃の報告を受け、直ちに反撃に出ることを決断。六月一日夜、洪武隊と第二奇兵隊へ大島郡出陣命令を発した。

―瓦版・錦絵・手紙―

長州戦争に関する情報伝播

会期
7月25日(土)
～
9月23日(水・祝)

小倉に集結する幕府軍

総勢二万人、指揮官は老中小笠原長行



長州壇ノ浦赤間関合戦（小倉口の戦い）当館蔵

小倉口の幕府軍は小倉・肥後・唐津・久留米などの九州諸藩からなる総勢二万人を動員した。
本図は、幕府軍の集結を壇ノ浦の戦いになぞらえて描かれた錦絵である。その理由は、当時はその出来事を直接表現することが幕府から禁じられていたため、似ている故事に仮託して表現したのである。

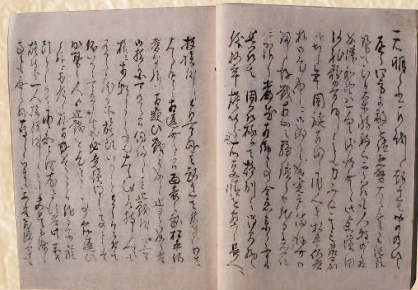
混乱する幕府軍の指揮系統

老中松平宗秀の独断行動が原因

征長先鋒副総督松平宗秀（老中）は膠着する戦況打開のため、独断で長州藩と停戦工作を行った。

征長先鋒総督徳川茂承はこれに激怒して辞表を提出、紀州藩兵および水野忠幹軍を広島城下へ撤兵し、幕府軍の足並みに乱れが生じた。

老中の停戦交渉は石州口の幕府軍にも伝わり、長州軍に追い込まれる浜田藩への援軍を見送る事態となったことが従軍していた鳥取藩兵の日記からわかる。



鳥取藩士濱田城下陣中日記 当館蔵

善戦する紀州藩兵

艦砲射撃に苦しむ長州軍

幕府軍先鋒の井伊・榊原両軍は戦国時代さながらの軍隊ゆえ、西洋式軍隊として訓練を積んだ長州軍にあっけなく敗北した。
征長先鋒総督徳川茂承は最新式の軍備をした新宮藩の水野忠幹軍を大竹方面に投入した。これにより戦局が一時、幕府軍に有利となるが長州軍の頑強な抵抗により膠着状態となった。



陰徳太平記新図（芸州口の戦い）当館蔵

さらに紀州軍は蒸気船明光丸を中心とする艦隊を編成し、大竹方面に展開する長州軍に艦砲射撃を行い、長州軍を苦しめた。
本図は、芸州口の戦いの推移が描かれている。



中岡慎太郎館

〒781-6449 高知県安芸郡北川村柏木140番地
TEL 0887-38-8600 FAX 0887-38-8601
E-mail nskanzo@nakaokashintarokan.jp
HP <https://www.nakaokashintarokan.jp>

■入館料：一般500円、小中学生300円
※北川村民、未就学児、身体障害者手帳1・2級所持者及びその介護者1名は無料
■開館時間：9時～16時30分（入館は16時まで）
■休館日：火曜日（祝日の場合はその翌日）



●JR高知駅から「ごめん・なはり線」に乗車（約70分）奈半利駅、奈半利駅より北川村営バスもしくはタクシーに乗車（約15分）、村営バスは慎太郎館前（柏木）下車
●車では高知自動車道南国I.Cより国道55号線で安芸・室戸方面に向かい奈半利町より国道493号線を通行（約1時間30分）

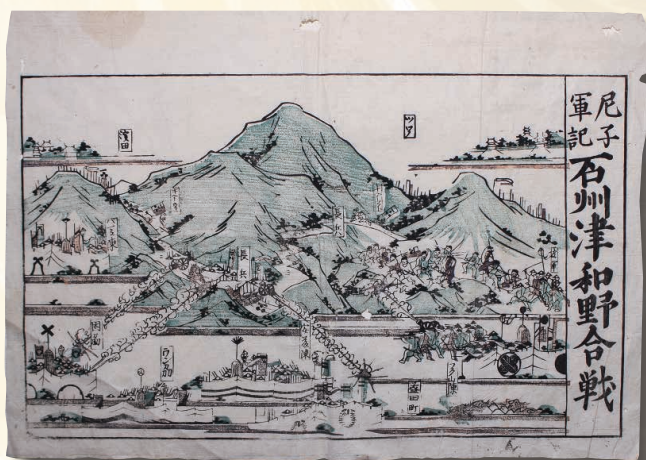
本年は長州戦争（幕長戦争）勃発から160年にあたる。

本展では長州戦争を描いた瓦版、錦絵、戦況を知らせる手紙などを展示し、戦争に関する情報がどこまで正確に書かれているのか分析する。また、瓦版と錦絵に描かれた内容を読み解きながら庶民が戦争をどうとらえていたのか、メディアツールとしての有用性についても紹介したい。



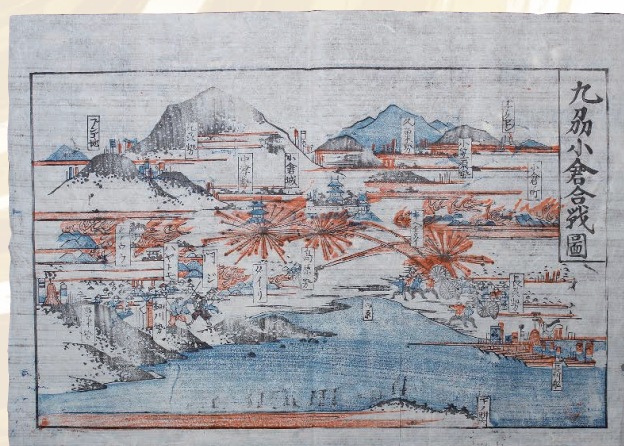
足利尊氏公同直義公之両軍筑紫出船之図（当館蔵）

長州戦争で大坂を出陣する幕府軍を足利尊氏の出陣になぞらえて風刺した錦絵。幕府軍を足利尊氏になぞらえるうに画面右上に総大将足利尊氏の顔を描いていることから、戦争を強行する徳川幕府に対する批判の意図がうかがえる。



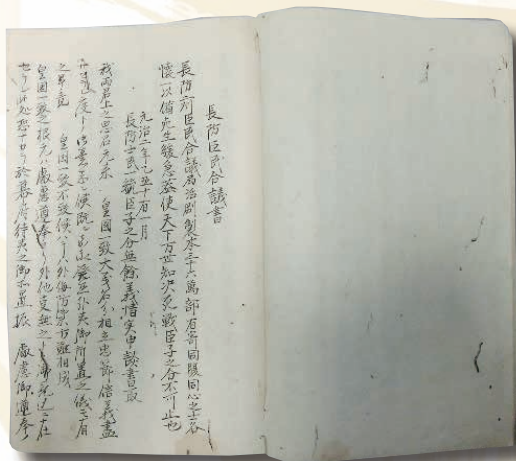
尼子軍記石州津和野合戦（石州口の戦い）当館蔵

石州口の戦いを描いた瓦版。幕府軍は勅命を奉じて戦っていることから「官軍」と表記されている。



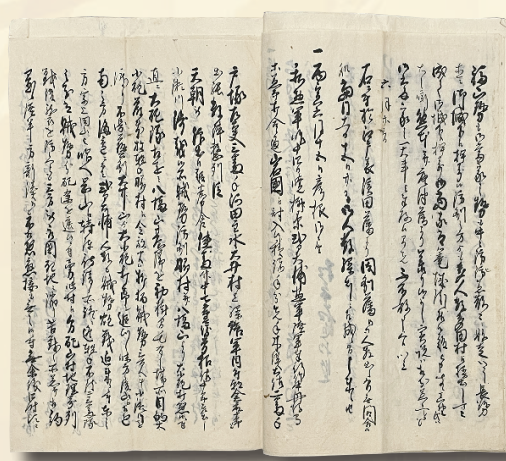
九州小倉合戦図（小倉口の戦い）当館蔵

小倉口の戦いを描いた瓦版。右側に長州軍とその主力である奇兵隊（本図では「キヘイタイ」）が描かれている。



防長臣民合議書写（利岡家文書）当館蔵

長州藩が幕府との戦争の正当性を主張するために作成した書物。長州藩はこの書物と大島口での幕府軍の行動を喧伝し、自軍に有利になるための情報戦を展開した。



西征戦争書取集写 当館蔵

当館初公開

幕府軍が提出した長州戦争の経過報告書類の写し。長州軍は、高所に陣取り、兵を分散して攻撃（散兵戦術）していることが本書に記録されている。

関連行事

- 講演会「長州戦争を伝達したメディアー瓦版・錦絵・手紙ー」9月5日(土) 13時30分～15時
講師：豊田満広（当館副参事・学芸員）
- 学芸員の展示解説：8月1日(土)、8月15日(土)、9月22日(火・祝) 13時30分～14時

